

パリ、2018年9月28日

中欧・東欧企業倒産の概況 「よき時代」の終焉

- ・域内の経済成長加速にもかかわらず、企業倒産は2017年中に6.7%増加
- ・ポーランド、ハンガリー、そして特にクロアチアで企業倒産が顕著に増加。一方でスロバキア、チェコ共和国では減少を記録。
- ・中欧・東欧(CEE)企業が2008年以来、過去最高のペースで成長していたことを考えると、その流動性は驚異的に悪化。
- ・域内の現在の景気循環の終焉を示唆。
- ・企業倒産は今後も増加が続く:コファスの予測では2018年は10.4%増、2019年は15.5%増。

中欧・東欧(CEE)地域では近年、経済活動の改善が見られた。特に顕著だったのは2017年であり、域内諸国の平均GDP成長率は4.5%に急伸し、2008年以来最高となった。家計消費と、設備投資の回復による生産量の増大が、成長に大きく貢献した。しかしその一方で、2017年に見られた良好な事業環境は、企業の流動性状況の改善を牽引するには不十分だった。

2017年には企業倒産の総数が6.4%増大した。これは、2015年の14%減少、2016年の6%減少という近年見られたトレンドが逆転したことを意味している。もう一つの変化は、2017年には、より多くの国が企業倒産増加の影響を受けたという事実である。この年、企業倒産件数の増加が報告された国は9ヶ国にのぼったが(クロアチア、エストニア、ハンガリー、リトアニア、ポーランド、ルーマニア、ロシア、セルビア、スロベニア)、減少を記録した国はわずか5ヶ国だった(ブルガリア、チェコ共和国、ラトビア、スロバキア、ウクライナ)。

	倒産総数	推移	倒産率*	予想推移	
	2017	2017/2016	2017	2018	2019
Bulgaria	311	-18.4%	0.08%	-1.9%	4.6%
Croatia	901	40.1%	0.38%	1.3%	5.6%
Czech Republic	1 803	-26.0%	0.36%	2.2%	4.3%
Estonia	343	2.4%	0.16%	7.3%	8.2%
Hungary	16 302	14.4%	3.06%	3.4%	8.6%
Latvia	591	-18.7%	0.26%	6.6%	2.5%
Lithuania	2 951	9.9%	2.83%	8.7%	9.2%
Poland	885	16.4%	0.04%	20.2%	9.3%
Romania	8 256	2.5%	1.68%	-3.1%	5.7%
Russia	11 551	9.7%	0.25%	-0.2%	2.2%
Serbia	6 562	13.1%	4.62%	-5.8%	-1.2%
Slovakia	253	-27.1%	0.10%	-3.2%	4.5%
Slovenia	740	8.3%	0.38%	5.1%	6.2%
Ukraine	1 403	-11.8%	0.22%	-8.3%	2.9%
GDP加重平均		6.4%	0.56%	10.4%	15.9%

* 有効な企業の総数における倒産の割合

域内の内訳を見ると、27.1%の減少を見たスロバキア、26%減少のチェコ共和国から、2.4%のエストニア、2.5%のルーマニアといった微増の国、40.1%と急増したクロアチアに至るまで、その動向は多岐にわたっていることが分かる。場合によっては企業倒産をもたらした企業の流動性悪化については、各国に共通するいくつかの理由が見られる。コファスの中欧・東欧地域担当エコノミスト Grzegorz Sielewicz は、「高い設備稼働率と堅調な需要により、企業は生産能力の拡大に走った」と説明する。「これに加えて、好景気の時期を迎えたことで、多くのセクターで競争の激化が見られたにもかかわらず、新規事業設立のモチベーションが生まれた。増収となった企業も数多く見られたが、それに比べると増益の例は少なかった。生産者価格指数の加速によって確認できるように、賃金の上昇及び原材料費の高騰を含めたコスト上昇により利益は圧迫された。」

さらに、人手不足の補充が困難になったことが、CEE 地域の企業にとっては事業活動及び拡大の可能性を妨げる大きな制約となった。ユーロスタット(欧州統計局)の企業調査によれば、製品・サービスに対する需要の不確実さよりも、こうした障壁を懸念点として報告する企業が増加した。したがって、景気の拡大は、CEE 地域の企業セクターにおける流動性に影響を与えた唯一の要因ではないと結論づけることができる。

コファスでは、2018 年及び 2019 年に関して、域内の企業倒産件数の増大が続くと予想している。これは中欧・東欧地域における景気循環が終りを迎えることを裏付けている。2018 年には、破産手続の増加を記録する国が増え、企業倒産の平均件数は 10.4%増大するだろう。ポーランドでは、企業倒産・再生手続の件数が過去最高の 20.2%増大すると予想される。一方、セルビア及びスロバキアでは、企業倒産の減少が見られるだろう。2019 年には、経済成長の鈍化が要因となって、CEE 地域における平均企業倒産件数は 15.5%増大すると見られる。

連絡先:

ジョナタン・ペレズ - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

Coface: for trade -共にビジネスを構築

70 年の経験と最も幅広い地域のネットワークを持つことにより、コファスは取引信用保険、リスク管理およびグローバルエコノミーという分野において、世界有数のエキスパートとなりました。業界で最も機動的で、グローバルな取引信用保険のパートナーになるという目標のもと、コファスの専門家たちは世界経済の動きを常に分析しながら、50,000 社の顧客事業の成功と成長、活性化のサポートを行っています。コファスグループのサービスとソリューションは、国内及び輸出市場で販売能力を向上するための与信判断のサポートと売掛債権の保全を含みます。2017 年にはコファスの従業員は 100 カ国で 4100 名となり連結売上高は 14 億ユーロとなりました

www.coface.jp

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部に上場しています

ISINコード : FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

